

周防大島町の話題

浮島へ水道水を



❶ 台船のターンテーブルから海へ送りだされる送水管 ❷ 送水管の陸揚げ作業の様子 ❸ 陸揚げされた送水管の先端

12月4日、5日に、浮島へ水道水を送るための海底送水管の布設工事が行われました。浮島の配水池と神浦のポンプ所を結ぶ、内径75mm、長さ約3.8kmの送水管が、台船のターンテーブルから海へ送り出されました。

布設工事後に、台船の機械やダイバーによる送水管の埋設作業が行われており令和2年度中の浮島への給水を目指し、現在も工事が進められています。

想いをこめて書きましょう

12月5日、文章を書く大切さを知ってほしいと、町内3つのライオンズクラブが今年も町内の小学生約440人に年賀ハガキ900枚を寄贈しました。

贈呈式後は、手紙が届くまでの流れや手紙の書き方の授業が行われました。年賀状は早速子ども達に配布され、おじいちゃんおばあちゃんや友達などに宛てて、新年の目標や近況などを書き込んでいました。



▲それぞれの想いを年賀状に書いた城山小学校4年生の皆さん



▲12月5日、受賞報告に訪れた橘郷土会の正久武則会長Ⓐと永本隆道副会長Ⓑ

郷土文化の理解と研究に尽力

11月21日、県庁において教育功労者表彰式が行われ、橘郷土会が学術の振興及び文化財の保護（団体）で表彰されました。昭和26年に設立、会誌「ふるさと」や「盆踊り唄」「いのこうた」の冊子発行とともに歴史講演会の開催など、多数の文化財保護に対する功績が認められたものです。会長の正久武則さんは「歴代の会長をはじめ会員の皆様のおかげ」と話し、これからの活動への思いを新たにしました。